

事業名：観光振興計画推進事業

【事業番号 6224】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり						
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用						
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

江別市外の人

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	江別市外の人(把握困難)	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

江別市観光振興計画に基づき、新たな観光商品の開発やPRによる観光誘客を図るほか、計画推進のための観光人材の育成、推進体制の検討等を実施する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	事業実施件数	件	9	8	7	6
活動指標 2	観光人材育成セミナー開催回数	回	3	2	1	1

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し、道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	観光入込客数	人	1,190,090	1,361,201	1,216,970	1,361,201
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	10,256	7,185	8,298	11,685
正職員人件費(B)		千円	7,687	11,444	10,650	3,884
総事業費(A+B)		千円	17,943	18,629	18,948	15,569

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル事業</li> <li>・市外プロモーションの開催</li> <li>・観光人材育成セミナーの開催</li> <li>・リアル謎解きゲームの開催</li> <li>・観光イラストマップの更新</li> <li>・産業連携新商品開発支援補助金</li> <li>・観光PR動画制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタサイクル事業費 1,863千円</li> <li>・市外プロモーション事業費 495千円</li> <li>・観光人材育成セミナー委託料 297千円</li> <li>・リアル謎解きゲーム委託料 2,618千円</li> <li>・観光イラストマップ更新費 720千円</li> <li>・産業連携新商品開発支援補助金 1,937千円</li> <li>・観光PR動画制作費 298千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

江別市の交流人口を増やし地域経済を活性化するために、実際に江別市に来てもらい、まちを知ってもらうことが重要であるため、市民・観光関連事業者・行政など江別市の観光に携わる全ての人が連携し、平成29年度に策定した江別市観光振興計画に基づき、効果的な観光振興の取組を行うものである。

**事業を取り巻く環境変化**

新型コロナウイルス感染症の拡大により、市をまたぐ移動や不要不急の外出を控えるよう国や道から要請があり、観光需要は感染拡大前より大きく減少している。一方で、感染拡大防止のための新しい生活様式を守りながら、密を回避し、少人数・近場・巣ごもり・オンライン・テイクアウトといったキーワードでの消費需要が高まっている。  
また、観光振興計画の具現化を図る民間の中心的組織としての役割を担うため、令和3年10月に江別観光協会が法人化し、一般社団法人えべつ観光協会となった。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠
	どちらかといえば上がっている	
	上がっていない	
観光シーズンである5月中旬から9月末にかけて、新型コロナウイルス感染症が拡大し、不要不急の外出や市外との往来を控えるよう国や道から要請があったことから、観光入込客数は減少した。		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
観光振興計画に基づいた事業は、市全体の観光振興・地域経済等の活性化につながるため、市民、民間、行政が役割を分担しつつ連携し、自主的・積極的に取り組んでいくことで、更なる観光振興の向上へつながる余地がある。また、江別観光協会が一般社団法人化したことで、民間の柔軟な発想を取り入れた観光振興計画の推進が期待できる。		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由 根拠
	なし	
観光を取り巻く状況は大きく変化しており、観光振興計画に基づく事業の推進により成果指標である観光入込客数の維持又は増加を図るには、一定のコストが必要である。		

事業名：地域発見魅力発信事業

【事業番号 988】  
観光振興課 主査(観光振興)

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成23年度	終了年度	令和 3年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象(誰、何に対して事業を行うのか)

周辺市町村

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	周辺市町村数	市町村	8	8	8	0
対象指標 2						

手段(事務事業の内容、手法)

市内の周遊を促進するツールの作成や地域プロモーションを実施し、周辺市町村の住民にPRする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	プロモーション事業件数	件	6	6	6	0
活動指標 2						

意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)

地域資源を活用した観光情報の発信等により、江別の魅力を発信し、近隣市の住民や観光客の市内への入込数を増やす。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	主要観光施設観光入込客数(策定時5施設)	人	194,451	189,019	192,247	0
成果指標 2	主要観光施設観光入込客数	人	335,981	274,249	271,619	0

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	3,814	4,282	8,074	0
正職員人件費(B)		千円	6,150	6,866	6,846	0
総事業費(A+B)		千円	9,964	11,148	14,920	0

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊等事業</li> <li>ノハナショウブ保存活用事業</li> <li>ドライブコースご当地ナビ事業(JAF)</li> <li>こどもパスポート事業</li> <li>さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊等事業 6,468千円</li> <li>ノハナショウブ保存活用事業 614千円</li> <li>ドライブコースご当地ナビ事業(JAF) 35千円</li> <li>こどもパスポート事業 330千円</li> <li>さっぽろ連携中枢都市圏観光協議会事業 600千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

江別市は宿泊施設が少なく、日帰りで訪れる観光客が大部分を占めている。

**事業を取り巻く環境変化**

国による観光ビジョンの策定など観光産業に関する重要度が高まったことをうけ、広域観光やインバウンド対応の検討、地域おこし協力隊制度の活用などを展開する一方で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、少人数で、近場で、短時間で、といった行動傾向が強まり、道央圏や近隣市町村からの誘客を推進する取組みが重要となっている。

**令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由 根拠	▶	成果指標1については目標達成しているものの、成果指標2については未達成となっている。地域おこし協力隊による外からの視点で制作されたフリーペーパーの活用やSNSによる風景写真等の情報発信により、市内周遊の促進を図り、周辺市町村から江別市へ足を運んでもらうきっかけ作りを行った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で外出自粛等の制限があり、人流が抑えられたことが未達成の要因と考える。
	どちらかといえば上がっている			
	上がっていない			

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由 根拠	▶	新型コロナウイルス感染症による影響が小さくなれば、人流が増え、観光入込客数は現状よりも増加する余地がある。また、少人数で、近場で、短時間で、といったコロナ禍での行動傾向を捉え、新たに発足した一般社団法人えべつ観光協会と連携しながら、周辺市町村に対する江別の観光の魅力を積極的に発信していくことで、市内への入込客数を増加させる余地はあると考えている。
	成果向上余地 中			
	成果向上余地 小			

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由 根拠	▶	令和3年10月にえべつ観光協会が法人格を取得し、行政から独立した。今後は市と連携して観光事業に取り組んでいくが、事業実施のための補助など、当面行政のサポートが必要である。
	なし			

政策	02 産業	戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり					
取組の基本方針	03 観光による産業の振興	具体的施策	(1) 地域資源の発掘と活用					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象(誰、何に対して事業を行うのか)**

市民及び観光客

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777
対象指標 2	観光入込客数	人	1,190,090	1,361,201	1,216,970	1,361,201

**手段(事務事業の内容、手法)**

歴史的れんが建造物である旧ヒダ工場内にアンテナショップを設置し、観光・物産等の魅力を発信・プロモーションする。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	営業日数	日	362	362	351	361
活動指標 2						

**意図(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)**

江別市をはじめ、友好都市土佐市の特産品等のほか、江別市の観光情報等、魅力的な情報が手に入る。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	アンテナショップ来店者数	人	23,708	16,659	15,056	16,659
成果指標 2	アンテナショップ来店者数(市外)	人	6,511	4,017	3,911	4,017

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費(A)		千円	7,599	7,966	8,163	8,635
正職員人件費(B)		千円	3,844	3,815	3,804	3,884
総事業費(A+B)		千円	11,443	11,781	11,967	12,519

事業内容(主なもの)		費用内訳(主なもの)	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナショップ管理運営</li> <li>壁面黒板チョークアート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンテナショップ管理運営費 7,827千円</li> <li>壁面黒板チョークアート製作関連費 123千円</li> </ul>	

事業開始背景
江別グレシヤムアンテナショップとして、旧ヒダ工場の一部利活用を図ってきたが、商業施設として施設全体が活用されることに伴い、江別の魅力発信や観光案内等の新たな機能を加え、江別アンテナショップGET'Sとしてリニューアルした。
事業を取り巻く環境変化
アンテナショップの来店者数増加に向け、友好都市の特産品販売イベント等を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業の制限や人流の抑制がされるといった背景から、来店者数を増加させるのが難しい状況となっている。そのため、今後は新しい生活様式に沿った営業を行いながら、来店者数を増加させる取組を行うことが求められる。

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）		
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p><b>上がっていない</b></p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、営業時間の短縮や休業といった対応をせざるを得ない状況であった。また、不要不急の外出自粛によって人流が抑制されたため、昨年度より更に来店者数が減少した。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p><b>成果向上余地 中</b></p> <p>成果向上余地 小</p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大による影響が緩和され、人流の抑制がなくなることにより、来店者数がコロナ前の水準まで回復する余地がある。 また、友好都市の特産品販売イベントの開催や、江別市の観光情報を今後も継続して発信していくことで、来店者数が増加する余地がある。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p><b>なし</b></p>	<p style="text-align: center;">理由 根拠</p> <p>現状、必要最低限のコストで運営しているため、経費削減は施設の管理運営に支障をきたす可能性がある。</p>

事業名：都市と農村交流事業

【事業番号 764】  
農業振興課 農畜産係

政策	02 産業		戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり			
取組の基本方針	01 都市型農業の推進		具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化			
開始年度	平成18年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	882	882	882
対象指標 2	市民	人	119,510	119,883	119,777	119,777

手段（事務事業の内容、手法）

「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、都市と農村の交流事業に対して補助する。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	イベント開催回数	回	15	6	6	11
活動指標 2	各部会等開催回数	回	8	7	9	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

生産者と消費者との相互理解を深め、グリーンツーリズム関連施設（農作業体験施設、農家レストラン、農産物直売所など）の利用増を図ることで、市民の地産地消や農村地域の活性化につなげる。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	グリーンツーリズム関連施設の利用者数	人	596,862	545,905	615,351	598,000
成果指標 2	イベント参加者の満足度	%	100	100	100	100

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	1,010	976	824	1,700
正職員人件費 (B)		千円	5,381	5,340	5,325	5,438
総事業費 (A+B)		千円	6,391	6,316	6,149	7,138

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>江別「まち」と「むら」の交流推進協議会への補助（協議会の事業内容：野菜作り講習会開催、江別を食べてよう！キャンペーン実施、直売所MAP作成、農産物加工品ブランド認証シール作成、加工品フェア開催など）</li> <li>6次産業化支援のための農業者等への補助</li> </ul>	・ 協議会への補助	824千円

**事業開始背景**

農業への関心を高めてもらう機会を提供する場として、産地直売所や貸し農園（観光農園）などを通じた「まち」と「むら」のふれあい交流・体験活動を行っていきこうと市内の産地直売所17ヶ所と貸し農園6ヶ所により、江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会が平成17年5月24日に設立された。

**事業を取り巻く環境変化**

消費者との交流を図りながら、ニーズに応えた活動を展開している。令和2年からは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人流の抑制等が求められる状況にある。

**令和3年度の実績による担当課の評価（令和4年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	施設の利用者数については、干ばつによる作物の不作や価格の乱高下の影響で減少した施設もあるが、新たに直売所がオープンしたことにより、全体数は増加している。イベントは、新型コロナウイルスの影響によって計画どおり実施できなかったが、開催できたイベントは引き続き高い満足度を得た。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返している中で、この状況下でもできる範囲でイベントを再開しているものの、天候や物価によっても施設利用者数は変動するため、利用者数を大きく増加させていくことは難しい。今後も様々な手法で情報発信等を継続していくことが重要であると考え。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	各種イベント等の開催に係る必要最低限のコストで実施しているため、これ以上のコスト削減は難しい。
	なし		



事業名：江別産農畜産物ブランディング事業 農業振興課 農畜産係

政策	02 産業			戦略	1 にぎわいと活力を創出するまちづくり		
取組の基本方針	01 都市型農業の推進			具体的施策	(2) 農畜産物の高付加価値化		
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独 補助金 事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内農業者及び市民

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
対象指標 1	市内農業者	人	924	882	882	882
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

〈小麦〉「江別市農畜産園芸振興事業補助規則」に基づき、地元産小麦の安定供給への支援に対して補助する。  
 〈黒毛和牛〉「えぞ但馬牛ブランド化支援事業実施要領」に基づき、次のとおり補助する。  
 ①精液等購入経費：補助率1/2以内 ②繁殖牛自家保留：1万円以内/頭 ③受精卵移植：5,500円以内/回

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
活動指標 1	補助金額（小麦関係）	千円	1,847	1,583	1,520	1,559
活動指標 2	精液購入等補助金額	千円	700	610	590	700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）




農畜産物の安定生産及び安定供給を図ることで、既存商品の維持や新商品開発等につなげるとともに、市民への認知度を高めていく。

指標名		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
成果指標 1	特産品の認知回数	品目	2	2	2	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	元年度実績	2年度実績	3年度実績	4年度当初
事業費 (A)		千円	2,547	2,193	2,110	2,259
正職員人件費 (B)		千円	3,844	3,815	3,804	3,884
総事業費 (A+B)		千円	6,391	6,008	5,914	6,143

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>小麦生産団体への補助</li> <li>和牛生産団体への補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド化小麦地域安定供給支援事業補助 1,520千円</li> <li>黒毛和牛優良種雄牛精液購入等補助 590千円</li> </ul>	

事業開始背景	
<p>小麦品種「ハルユタカ」は全国的に知名度があり、特に江別産のイメージが強く、ブランド化できる品種として有望である。しかし、「ハルユタカ」は収量が不安定なことから、全道的に収穫量が減少し、これに伴って種子生産量も減少した。市内の作付面積確保には種子を自前で用意する必要がある。本事業では種子不作時の補てんを目的とした基金を設立し、種子生産拡大を誘導することによって「ハルユタカ」生産量の拡大を目指すこととした。</p>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>黒毛和牛については、飼料価格や素牛価格の高騰、枝肉取引価格の下落等、肉牛生産農家は厳しい状況に直面している。中力系小麦品種「きたほなみ」は、パンやラーメンでは「ハルユタカ」のブレンド用粉として使用され、うどんやお菓子にも使用されている江別産小麦製品として無くてはならない品種だが、現行の国の農業政策である経営所得安定対策においては、パンや中華麺用の強力・超強力系品種への交付金に加算措置を設けるなどの作付誘導策がとられており、市内においても「ゆめちから」をはじめとした強力・超強力系品種へ作付をシフトする生産者が増加し、「きたほなみ」の収量確保が困難となる可能性が出てきた。</p>	

令和 3年度の実績による担当課の評価（令和 4年度7月時点）			
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
成果動向及び原因分析	上がっている	 <p>成果指標は、すでにブランディングされている小麦「麦の里えべつ」と黒毛和牛「えぞ但馬牛」の2品目で横ばいだが、小麦で加工品に欠かせない小麦品種「きたほなみ」の一定確保につながり、全道の黒毛和種の上物率（枝肉格付けA-5・A-4の割合）は74.5%に対し、江別の黒毛和種「えぞ但馬牛」は95.5%となっていることから、成果は向上していると考えられる。</p>	
	どちらかといえば上がっている		理由根拠
	上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？			
成果向上余地	成果向上余地 大	 <p>事業を継続し、小麦品種や黒毛和種の安定供給を図ることで、製品の拡大や付加価値の向上につながる</p>	
	成果向上余地 中		理由根拠
	成果向上余地 小		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？			
コスト	ある	 <p>現在の飼料価格や素牛価格の高騰、さらに、国の強力粉加算の動向等を踏まえると、市内で生産される黒毛和牛や小麦品種の安定供給には、現状の支援を継続していく必要がある。</p>	
	なし		理由根拠